



岡山大学記者クラブ

文部科学記者会

科学記者会

御中

令和 3 年 8 月 11 日

岡 山 大 学

武田／モデルナ社新型コロナワクチン 1 回目接種後副反応調査中間報告

- ・岡山大学における大学拠点接種で行われた、武田／モデルナ社新型コロナワクチンの副反応調査を実施。中間報告時点で、3,794 名が 1 回目接種後の副反応調査に回答しました。
- ・局所反応として、接種局所の痛みが 91.5%、腫脹が 39.6%に出現。接種 7 日目頃に接種部位に出現する遅延型皮膚反応「モデルナアーム」に一致した症状が 2~3%前後に出現していました。
- ・全身反応として、筋肉痛が 59.4%、倦怠感が 48.5%、頭痛が 29.7%の順に多く、発熱は 23.0%で出現。若年世代で発熱の出現頻度が高い傾向にありました。

新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種に関して、一般の方へ正確な情報提供を行うことを目的に、大学拠点接種として岡山大学で行われた、武田／モデルナ社新型コロナワクチンの副反応調査を実施しました。岡山大学教職員及び学生の計 3,794 名が 1 回目接種後の副反応調査に回答しました（8 月 6 日回答分まで）。

結果は、接種部位の局所反応として痛みが 91.5%、腫脹が 39.6%で出現。接種 7 日目頃に接種部位に出現する遅延型皮膚反応「モデルナアーム」に一致した症状が 2~3%前後に出現していました。また、全身反応として、筋肉痛が 59.4%、倦怠感が 48.5%、頭痛が 29.7%の順に多く、発熱は 23.0%で出現していました。

副反応に対して、20.1%が解熱鎮痛剤を使用。若年世代における発熱の出現頻度が高い傾向にあり、基礎疾患やアレルギー歴の有無は発熱の出現頻度と関連は認められませんでした。武田／モデルナ社ワクチンの副反応出現率は、岡山県内の 5 病院で実施したファイザーワクチンの 1 回目接種後副反応調査結果よりも高く、20 歳以下の対象者に絞った場合でも同様の傾向が見られました。

今後は、2 回目接種後終了後に、再度結果を解析。最終報告として、両接種回での副反応の頻度を分析、比較する予定です。厚生労働省の研究班でも副反応調査が行われていますが、その対象者は男性数が多く幅広い年代にわたっている自衛隊職員が対象であり、本調査の対象は男女半々で、若い方が多く含まれているため、厚生労働省の研究班の知見と相補的に働くと思われま

ワクチンには副反応がありますが、大体の症状は接種翌日、翌々日には落ち着いています。ワクチンを打つメリットの方が大きいと思いますので、接種を考える際の判断や準備の参考にしていただけますと幸いです。



頼藤教授



PRESS RELEASE

■発表内容

<現状> 武田／モデルナ社新型コロナワクチン接種が国内でも進行中

<研究成果の内容> 別添資料参考

<社会的な意義>

厚生労働省の研究班でも副反応調査が行われていますが、その対象者は男性数が多く幅広い年代にわたっている自衛隊職員が対象であり、本調査の対象は男女半々で、若い方が多く含まれているため、厚生労働省の研究班の知見と相補的に働くと思われまます。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_kenkoujoukyoutyousa.html

■調査情報

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科疫学・衛生学分野 HP に掲載

U R L : <http://www.unit-gp.jp/eisei/wp/?p=4923>

■研究資金

本調査は、岡山大学学都基金（新型コロナウイルス感染症関連研究支援）へのご寄付を財源として実施しました。

■補足・用語説明

岡山県の依頼を受け、岡山県内の5医療機関で協力し実施したファイザー社新型コロナワクチンの副反応調査の最終報告も岡山大学大学院医歯薬学総合研究科疫学・衛生学分野 HP に掲載してあります。

<お問い合わせ>

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 疫学・衛生学分野

教授 頼藤 貴志

助教 松本 尚美

岡山大学病院 総合内科・総合診療科

准教授 萩谷 英大

岡山大学 保健管理センター

助教 樋口 千草



新型コロナウイルスワクチン

(武田/モデルナ社 COVID-19ワクチンモデルナ筋注)

接種後副反応調査

中間報告

(1回目接種)

2021年7月5日～8月6日調査回答分

岡山大学 疫学・衛生学分野

新型コロナウイルスワクチン

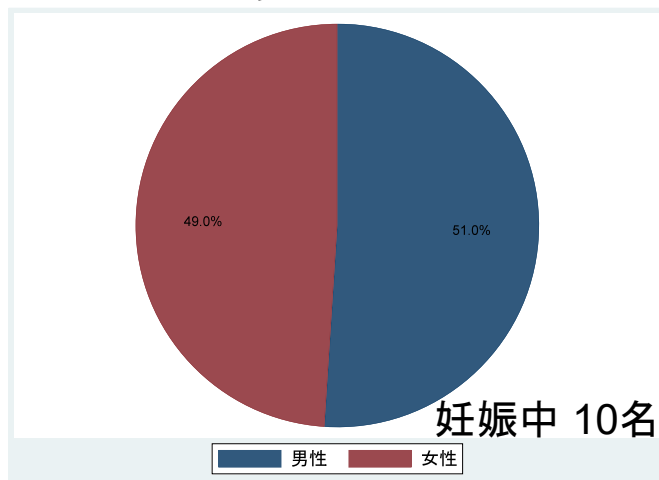
(武田/モデルナ社 COVID-19ワクチンモデルナ筋注)

接種後副反応調査

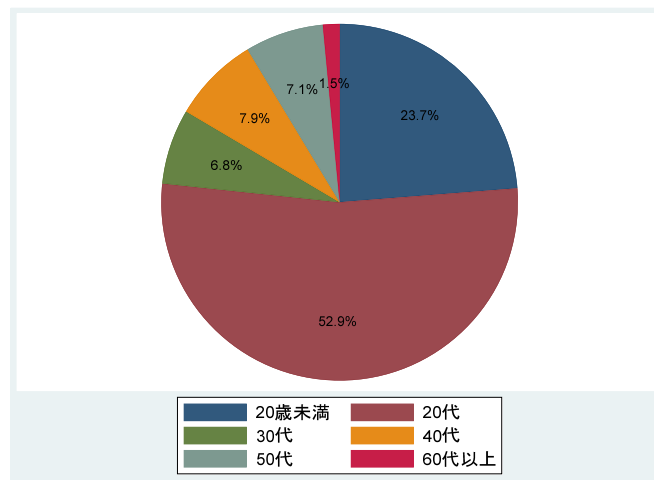
目的	岡山大学における新型コロナウイルスワクチン接種後の副反応の頻度を評価し、一般の方へ正確な情報提供を行う
対象	岡山大学大学拠点接種で新型コロナウイルスワクチン(武田/モデルナ社)を接種した岡山大学教職員及び学生
調査実施方法	Google Formによる回答
解析	-記述分析 -岡山大学大学院医歯薬学総合研究科疫学・衛生学分野にて解析実施
実施主体	岡山大学

1回目被接種者の人口統計学的特性 (回答数3794名)

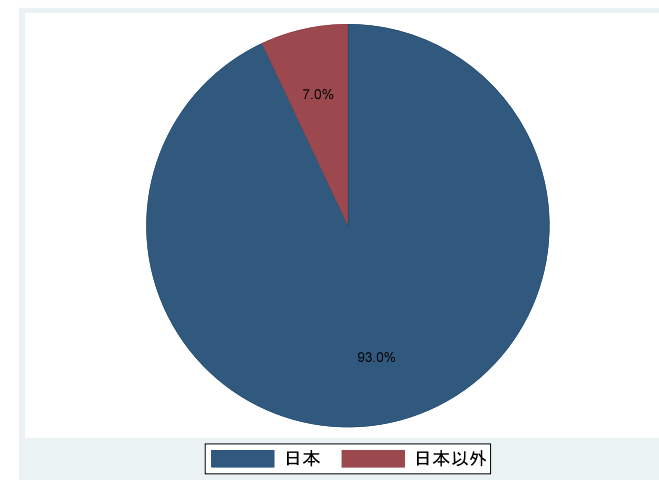
男女比



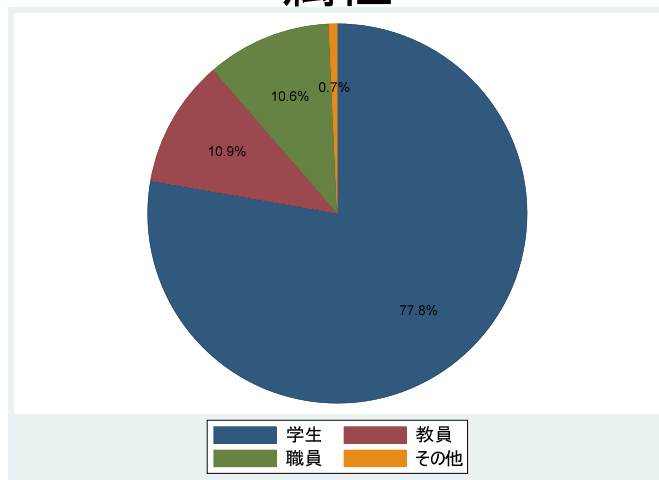
年齢分布



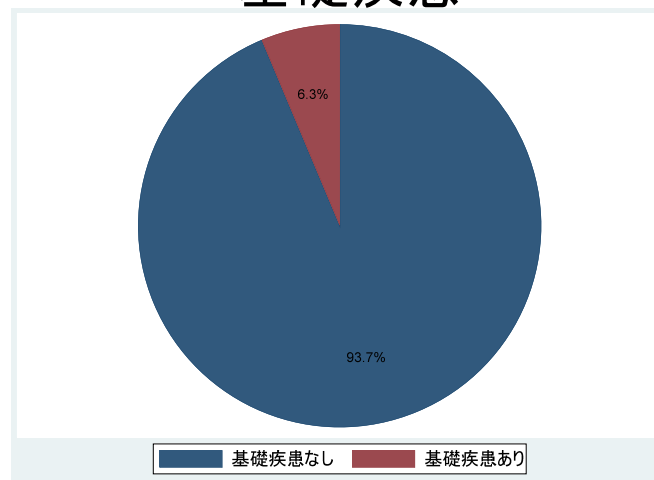
国籍



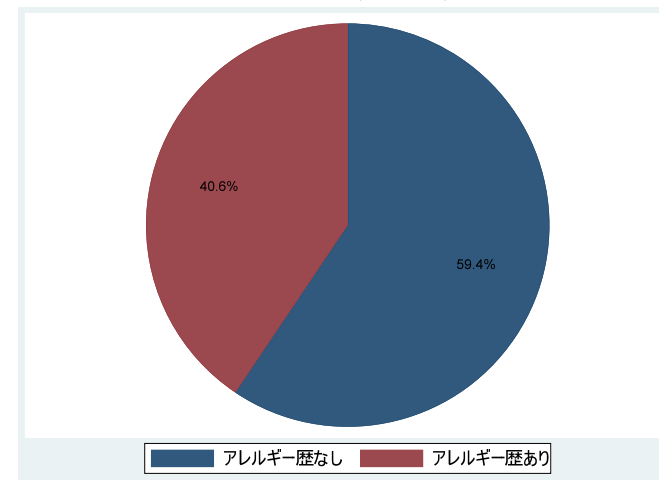
属性



基礎疾患



アレルギー歴



基礎疾患あり(240名)の詳細

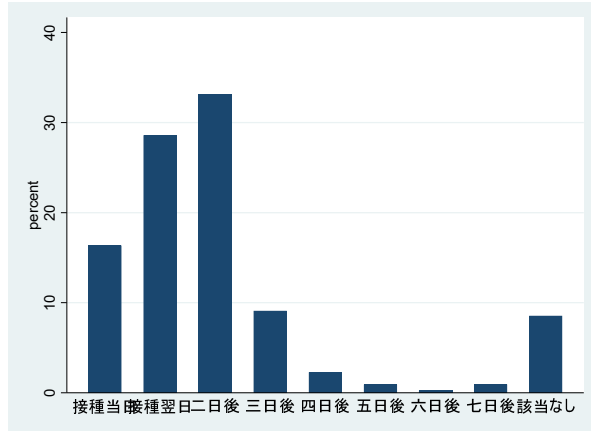
	人数 (人)	割合(/3794名)
肥満(BMI 30以上)	66	1.7%
慢性呼吸器疾患	15	0.4%
慢性心疾患・高血圧	27	0.7%
慢性腎疾患	8	0.2%
慢性肝疾患(脂肪肝と慢性肝炎は除く)	7	0.2%
神経疾患・神経筋疾患	4	0.1%
血液疾患(鉄欠乏性貧血は除く)	12	0.3%
糖尿病	12	0.3%
疾患や治療に伴う免疫抑制状態	7	0.2%
睡眠時無呼吸症候群	17	0.5%
その他	92	2.4%

アレルギー歴あり(1540名)の詳細

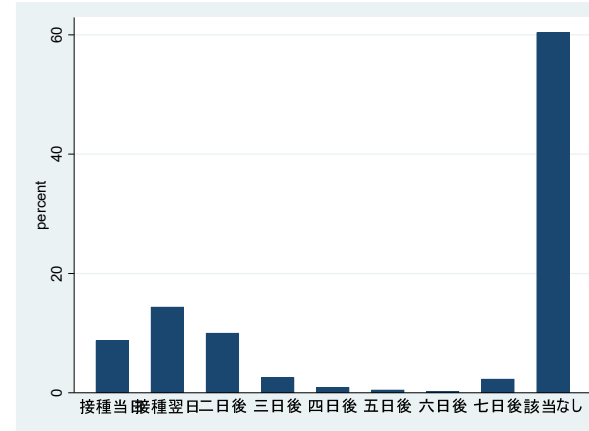
	人数 (人)	割合(/3794名)
気管支喘息	198	5.2%
アトピー性皮膚炎	355	9.4%
アレルギー性鼻炎(花粉症を含む)	1105	29.1%
食物アレルギー	284	7.5%
薬物アレルギー	87	2.3%
虫アレルギー(ハチなど)	21	0.6%
アナフィラキシー	29	0.8%
その他	82	2.2%

局所反応(出現割合)

痛み
(91.5%)



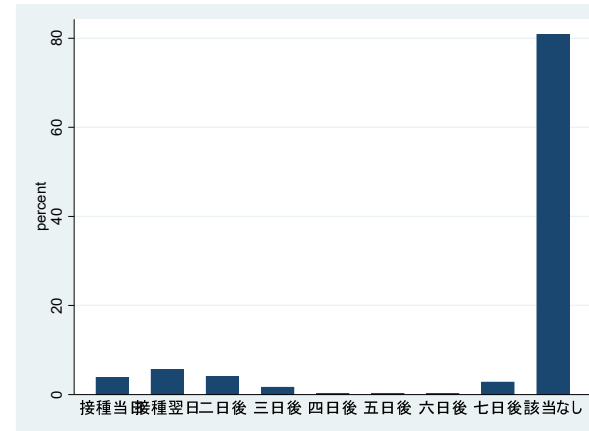
腫脹
(39.6%)



痒み
(16.7%)

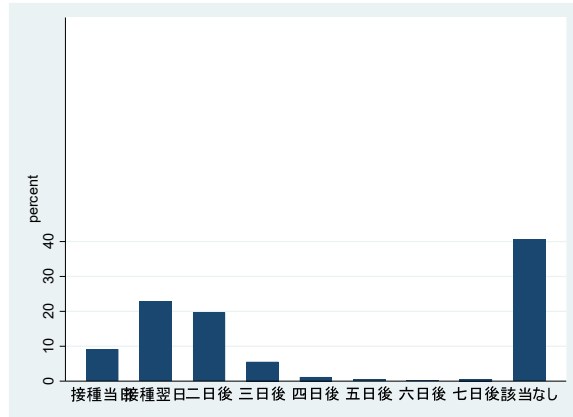


発赤
(19.1%)

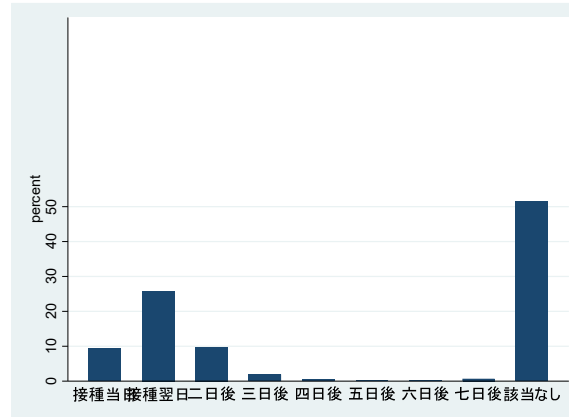


全身反応(出現割合)

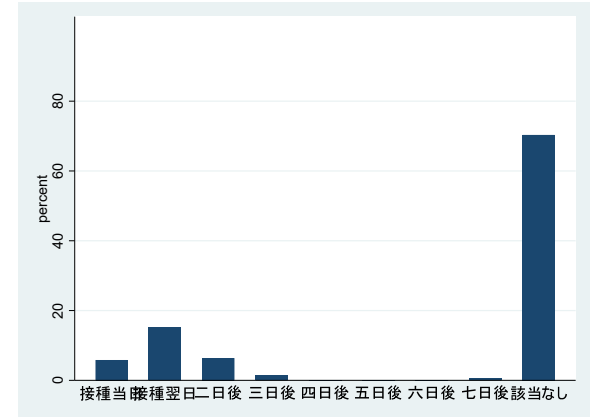
筋肉痛 (59.4%)



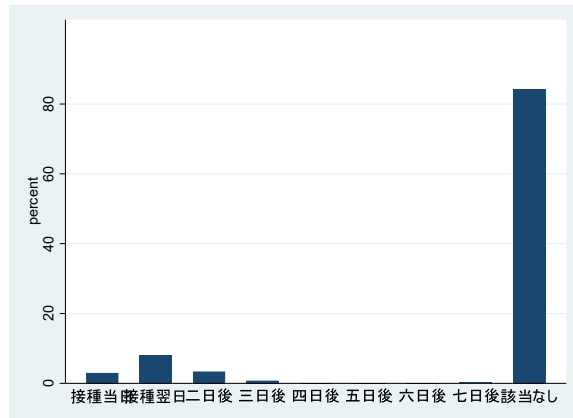
倦怠感 (48.5%)



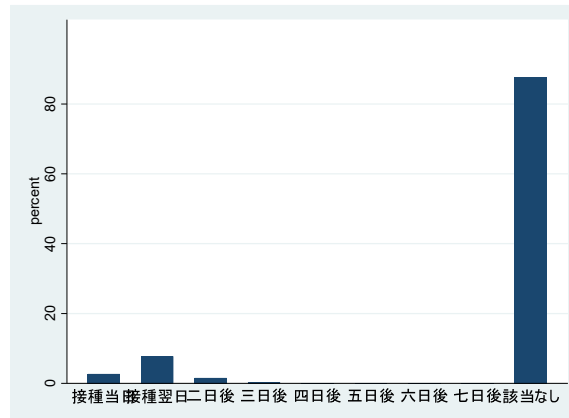
頭痛 (29.7%)



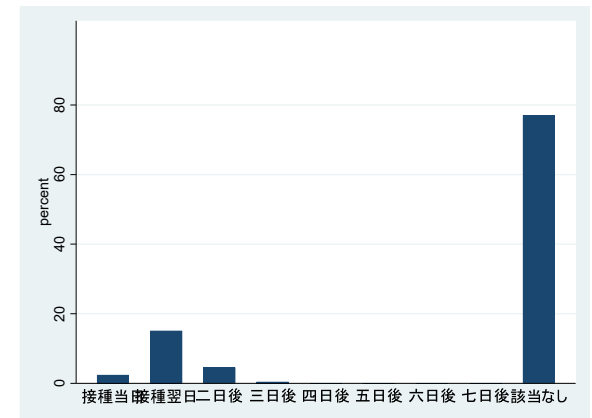
関節痛 (15.7%)



寒気・悪寒 (12.4%)

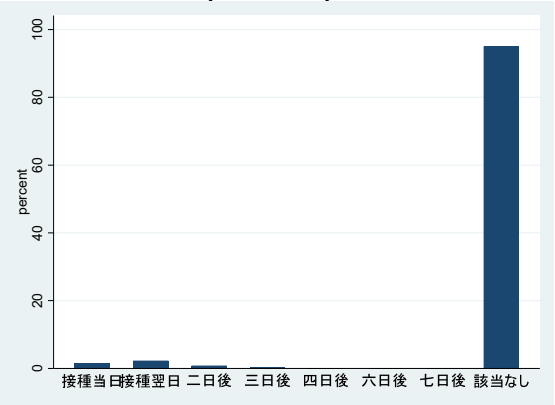


発熱 (23.0%)

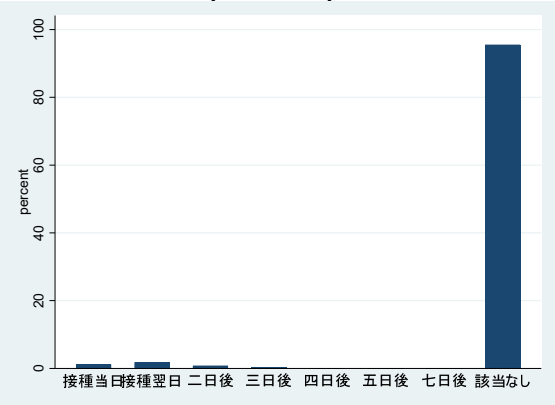


全身反応(出現割合)

嘔気・嘔吐 (5.0%)



下痢 (4.5%)

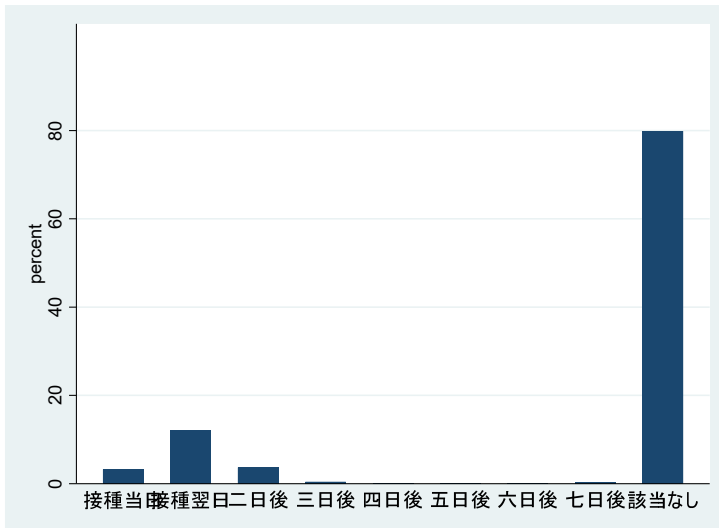


発疹 (2.3%)

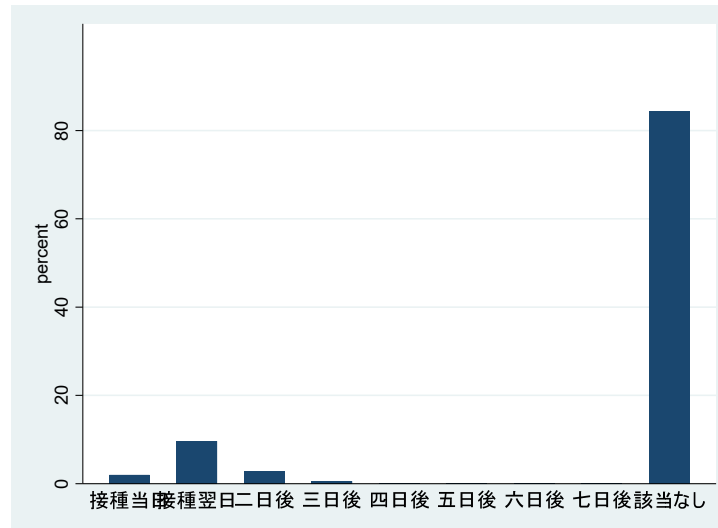


副反応に対する対応(割合)

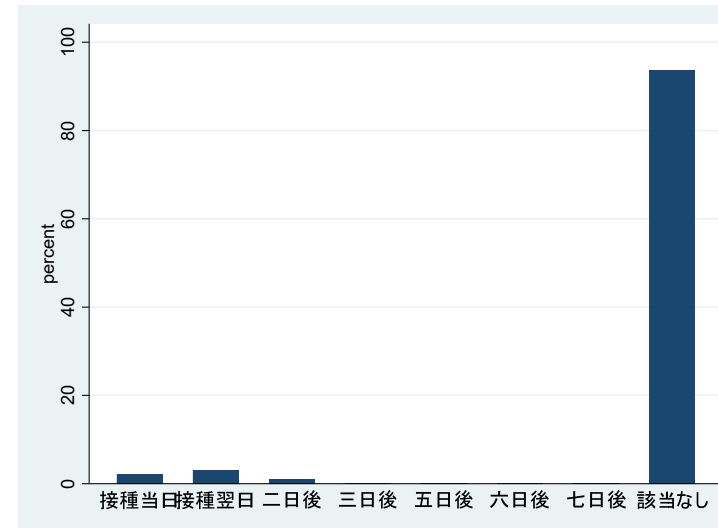
解熱鎮痛剤使用 (20.1%)



授業や仕事を休んだ (15.6%)



遅刻・早退 (6.4%)

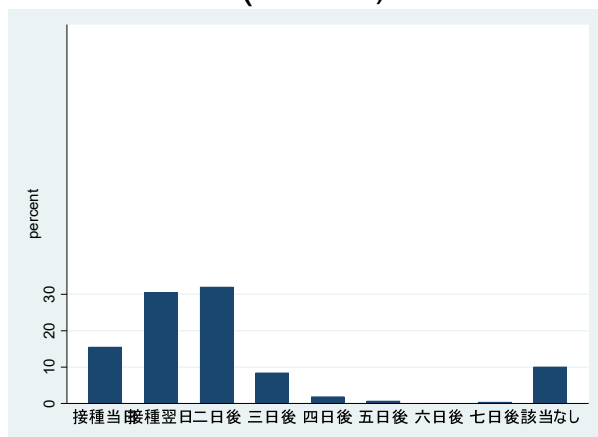


性別副反応

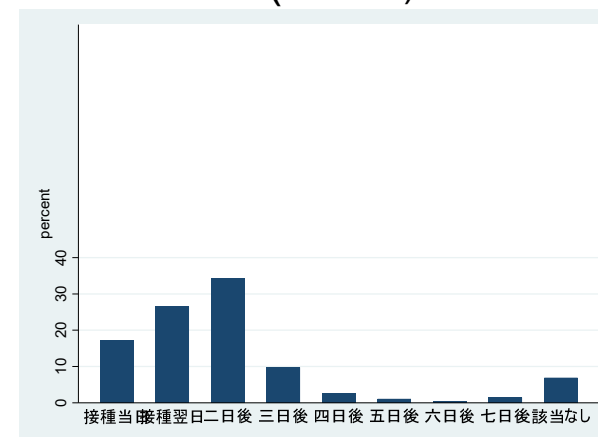
男性 (1936名)

女性 (1858名)

局所:痛み

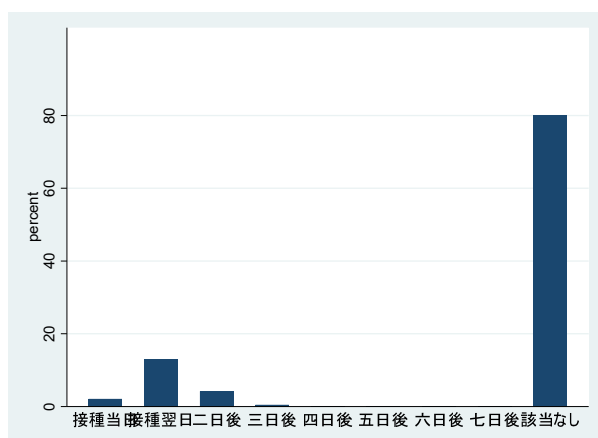


89.9%

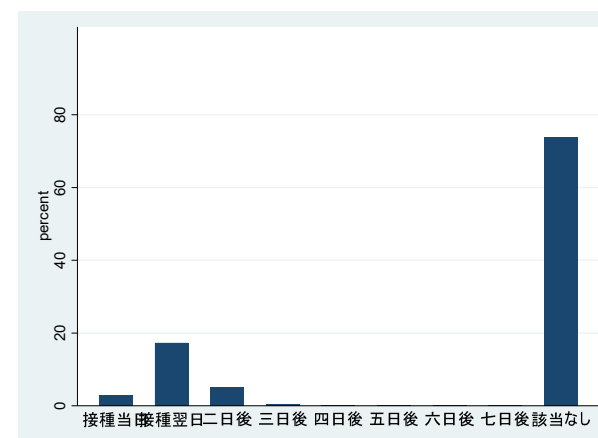


93.1%

全身:発熱



19.9%

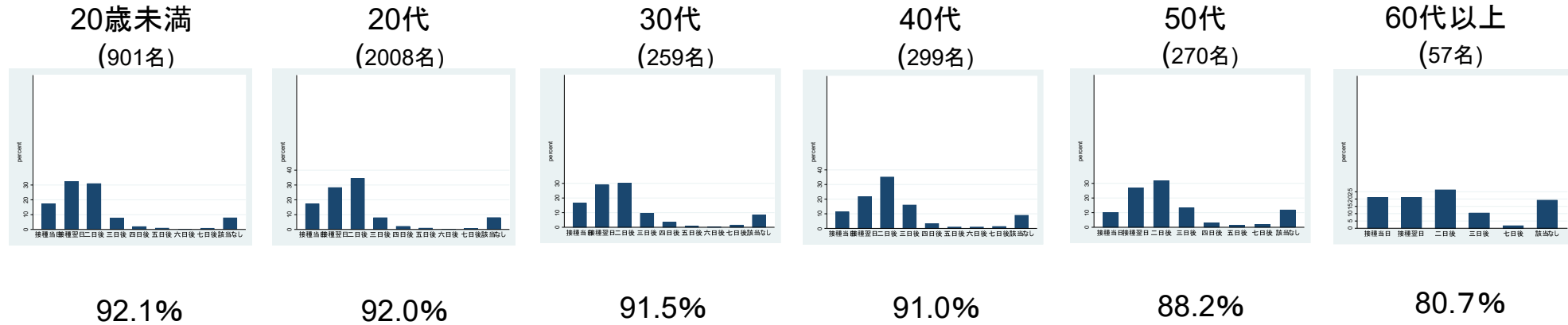


26.2%

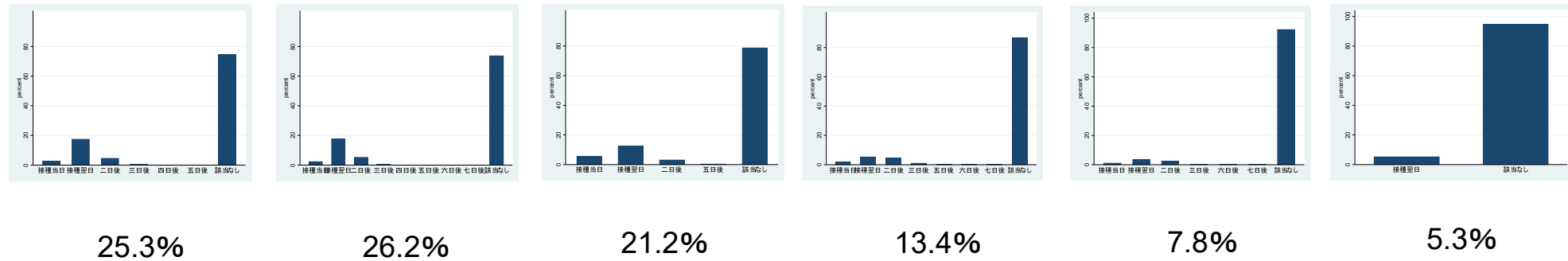
女性では男性と比べて副反応がやや多い傾向

年代別副反応

局所：痛み



全身：発熱

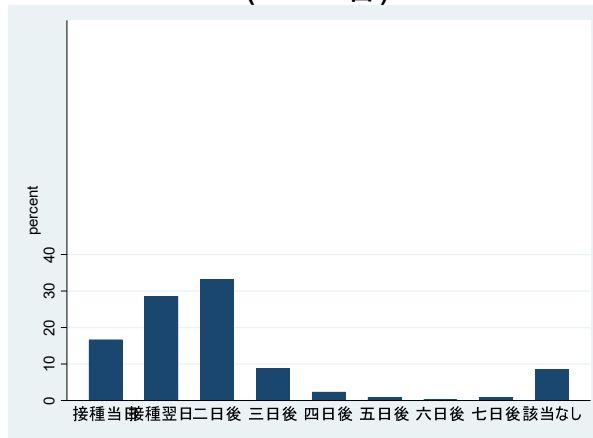


年齢が若いと、発熱や痛みの報告が増加

基礎疾患別副反応

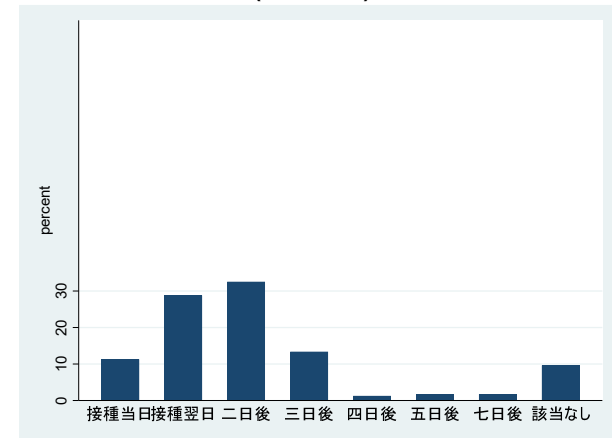
局所：痛み

基礎疾患なし
(3554名)



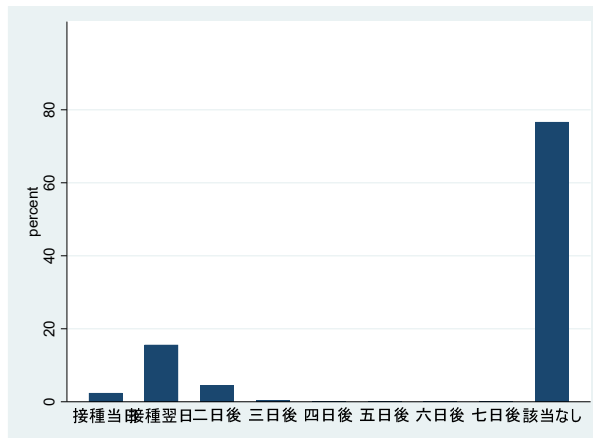
91.5%

基礎疾患あり
(240名)

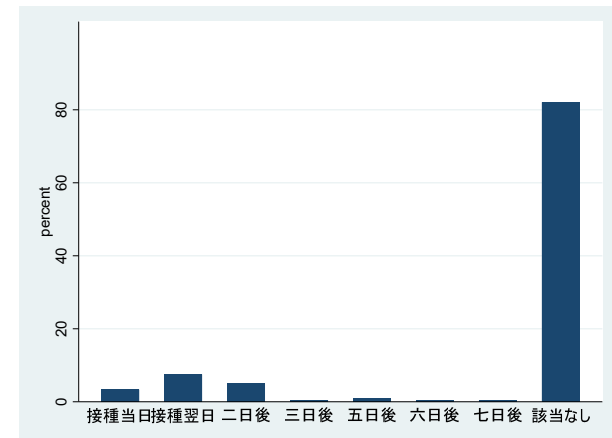


90.4%

全身：発熱



23.4%



17.9%

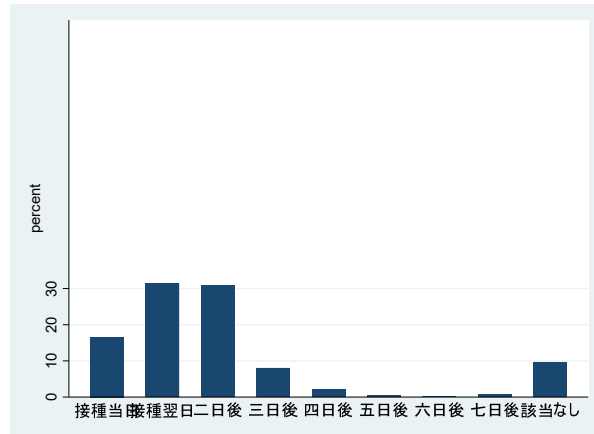
基礎疾患があっても副反応は増加しない(発熱はやや減少)

アレルギー歴別副反応

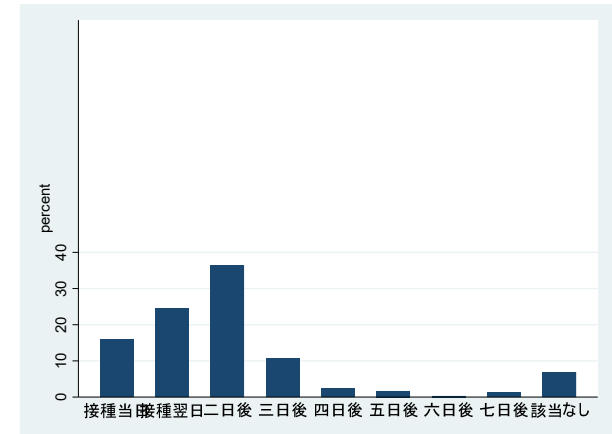
アレルギー歴なし
(2254名)

アレルギー歴あり
(1540名)

局所:痛み

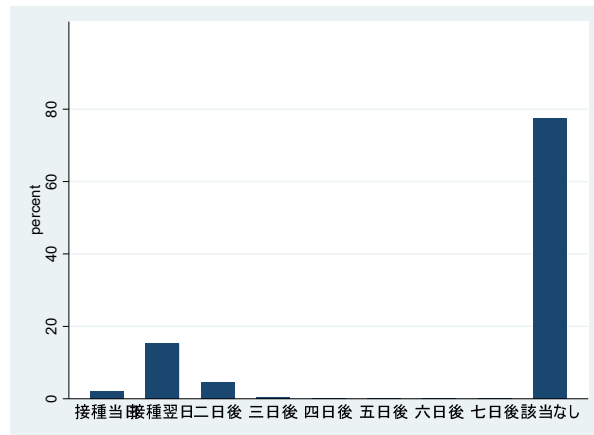


90.3%

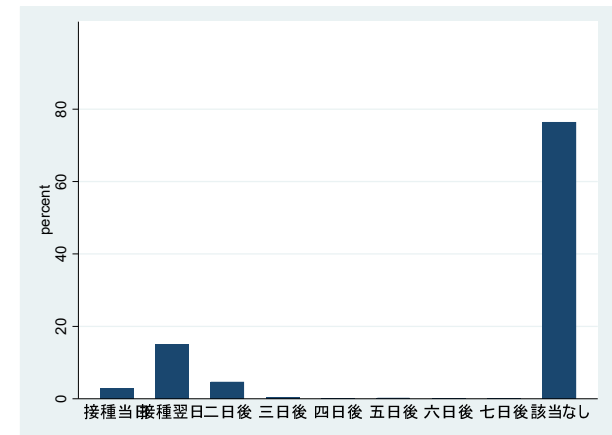


93.1%

全身:発熱



22.6%

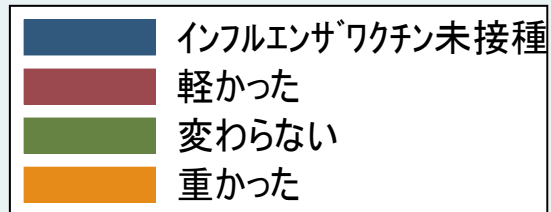
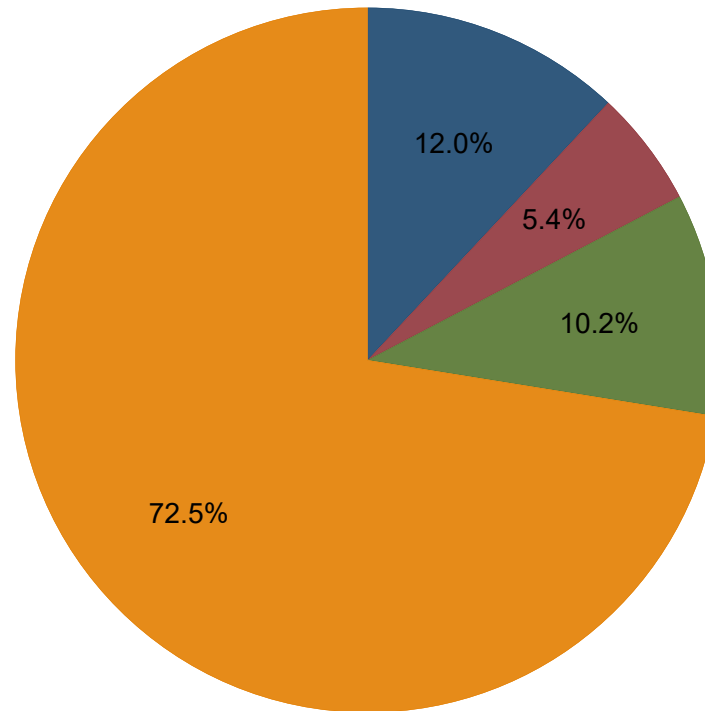


23.6%

アレルギー歴がある人の副反応報告はない人と比べて微増程度

インフルエンザワクチンとの比較(主観)

(回答数3794名)



ファイザーワクチン1回目接種後副反応調査結果との比較 (20代以下)

	モデルナ(%) /2909名	ファイザー(%) /約1300名
局所反応		
痛み	92.0	88.3
腫脹	41.4	21.0
発赤	19.0	12.1
痒み	15.9	9.2
全身反応		
筋肉痛	63.4	50.7
倦怠感	51.1	25.6
頭痛	32.2	19.0
寒気・悪寒	13.9	4.3
関節痛	17.4	5.5
発熱	25.9	3.7
嘔気・嘔吐	5.2	3.2
下痢	4.5	2.9
発疹	2.1	0.5
副反応に対する対応(予防措置を含む)		
解熱鎮痛剤使用	20.8	25.4
欠勤	17.3	1.5
遅刻・早退	6.6	0.7

注1). ファイザーワクチンは項目により回答数にばらつきあり

注2). ファイザーワクチンは調査対象が医療従事者であるため、予防的な解熱鎮痛剤使用が多く、結果に影響した可能性がある

対象集団や解熱鎮痛剤使用割合が異なるが、モデルナワクチンはファイザーワクチンに比べて副反応が出る割合が高い

モデルナワクチン1回目接種後副反応調査中間報告

(2021年7月5日～8月6日集計分)

- 3794名が1回目接種後の副反応調査に回答
- 局所反応として、痛みが91.5%、腫脹が39.6%で出現。接種7日目頃に局所反応が出現する遅延型皮膚反応”モデルナアーム”に一致した症状が2~3%前後に出現
- 全身反応として、筋肉痛が59.4%、倦怠感が48.5%、頭痛が29.7%の順に多く、発熱は23.0%で出現
- 副反応に対して、20.1%が解熱鎮痛剤を使用
- 年齢が若いと、発熱の出現頻度が高い傾向
- 基礎疾患やアレルギー歴の有無は発熱の出現頻度と関連が乏しい
- ファイザーワクチンと比較して副反応割合が高い

ご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました